

OpenManage Integration for VMware vCenter

バージョン 5.0

互換性マトリックス

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2010 年 ~ 2019 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

| | |
|---|-----------|
| 1 概要 | 4 |
| デフォルトの仮想アプライアンスの設定..... | 4 |
| 2 サポートされているリソース | 6 |
| ブラウザの要件..... | 6 |
| BIOS and iDRAC with Lifecycle Controller versions | 6 |
| ポート情報..... | 8 |
| OpenManage Integration for VMware vCenter 要件..... | 10 |
| 管理対象ホスト上のサポートされている ESXi バージョン | 10 |
| PowerEdge シャーシでサポートされる機能..... | 11 |
| PowerEdge サーバーでサポートされる機能..... | 11 |
| 3 重要なメモ | 13 |
| 4 その他の必要マニュアル | 14 |

概要

本書には、OpenManage Integration for VMware vCenter (OMIVV)、および OMIVV ソフトウェアに付属するその他すべての技術マニュアルに対するアップデートされた情報が記載されています。

OpenManage Integration for VMware vCenter 5.0 は次の機能を提供します。

- ・ HTML-5 クライアントのサポート
- ・ PowerEdge R6515 および PowerEdge R7515 サーバーのサポート
- ・ システム プロファイルの機能拡張により次をサポート：
 - ・ システム プロファイルの種類 - 基本および詳細
 - ・ システム プロファイルの編集
 - ・ 12G および 13G PowerEdge サーバー
- ・ vSphere 6.7 U3、vSphere 6.7 U2、および vSphere 6.5 U3 のサポートを追加
- ・ 展開モードの機能拡張により次をサポート：
 - ・ システム プロファイルのベースライン化 (クラスター用の関連クラスター プロファイルに基づく)
 - ・ システム プロファイル設定のプレビュー
- ・ 設定コンプライアンスの機能拡張：
 - ・ vSphere クラスター用のファームウェア/ハードウェアのベースライン化をサポート
 - ・ vCenter コンテキストによるドリフト詳細情報のクラスターレベル ビュー
- ・ 状況依存ヘルプのサポート
- ・ リポジトリ プロファイルの機能拡張によりオンライン リポジトリをサポート：Dell EMC デフォルト カタログおよび検証済み MX スタック カタログ
- ・ MX シャーシ管理モジュールのファームウェア アップデートのサポート
- ・ 管理コンソールの機能拡張によりバックアップ設定のリセットをサポート
- ・ 展開モードの機能拡張により特大モードで 2000 台のホストをサポート
- ・ OMIVV 用のデュアル ネットワーク アダプターのサポート
- ・ ホストとシャーシを監視するダッシュボード

❶ **メモ:** OMIVV 5.0 では、Dell EMC OpenManage Enterprise-Modular Edition バージョン 1.00.01 以降を使用することをお勧めします。

❷ **メモ:** OMIVV 5.0 以降では、VMware vSphere Client (HTML-5) のみがサポートされ、vSphere Web Client (FLEX) はサポートされません。

トピック：

- ・ [デフォルトの仮想アプライアンスの設定](#)

デフォルトの仮想アプライアンスの設定

表 1. 展開モードのシステム要件

| 展開モード | ホストの数 | CPU の数 | メモリ (GB) | 最小構成のストレージ |
|-------|---------|--------|------------|------------|
| 小 | 最大 250 | 2 | 8 | 95 GB |
| 中 | 最大 500 | 4 | 16 | 95 GB |
| 大 | 最大 1000 | 8 | 32 | 95 GB |
| 特大 | 最大 2000 | 12 | 32 | 95 GB |

❶ **メモ:** 上述の展開モードのいずれについても、予約機能を使用して OMIVV 仮想アプライアンスに十分なメモリリソースが確実に予約されているようにします。メモリリソースの予約についてのステップは、vSphere のマニュアルを参照してください。

① **メモ:** MX シャーシのファームウェア アップデート機能は、中規模、大規模、および特大の展開モードでのみサポートされます。

サポートされているリソース

本章には、OpenManage Integration for VMware vCenter をサポートするリソースに関する情報が記載されています。

トピック：

- ・ ブラウザーの要件
- ・ BIOS and iDRAC with Lifecycle Controller versions
- ・ ポート情報
- ・ OpenManage Integration for VMware vCenter 要件
- ・ PowerEdge シャーシでサポートされる機能
- ・ PowerEdge サーバーでサポートされる機能

ブラウザーの要件

OpenManage Integration for VMware vCenter を表示するには、システムに最小 1,024 x 768 の画面解像度と、オペレーティングシステムに基づく最小要件を満たす Web ブラウザが必要です。

- ① **メモ:** ブラウザーの要件は、**OpenManage Integration for VMware vCenter** を対象とする **VMware** のガイドラインの通りです。サポートされる Web ブラウザは、**Microsoft Internet Explorer**、**Google Chrome**、および **Mozilla Firefox** です。**OMIVV** 機能にアクセスするには、**Google Chrome** を使用することをお勧めします。
- ① **メモ:** 最新バージョンの対応ブラウザを使用することをお勧めします。具体的なブラウザバージョンについては、お使いの vCenter 用の **VMware** のマニュアルを参照してください。

BIOS and iDRAC with Lifecycle Controller versions

The BIOS and iDRAC with Lifecycle Controller versions that are required to enable the features of OpenManage Integration for VMware vCenter.

Dell EMC recommends you to use the Bootable ISO created by using Repository Manager, or Lifecycle Controller's Platform to update your servers to one of the following base versions before using OMIVV:

Table 2. Supported BIOS version for PowerEdge servers

| Server | Minimum version |
|--------|-----------------|
| T320 | 1.0.1 or later |
| T420 | 1.0.1 or later |
| T620 | 1.2.6 or later |
| M420 | 1.2.4 or later |
| M520 | 1.2.6 or later |
| M620 | 1.2.6 or later |
| M820 | 1.2.6 or later |
| R220 | 1.0.3 or later |
| R320 | 1.2.4 or later |
| R420 | 1.2.4 or later |
| R520 | 1.2.4 or later |
| R620 | 1.2.6 or later |

| Server | Minimum version |
|---------------|------------------------|
| R720 | 1.2.6 or later |
| R720xd | 1.2.6 or later |
| R820 | 1.7.2 or later |
| R920 | 1.1.0 or later |
| R630 | 1.0.4 or later |
| R730 | 1.0.4 or later |
| R730xd | 1.0.4 or later |
| R430 | 1.0.4 or later |
| R530 | 1.0.2 or later |
| R830 | 1.0.2 or later |
| R930 | 1.0.2 or later |
| R230 | 1.0.2 or later |
| R330 | 1.0.2 or later |
| T630 | 1.0.2 or later |
| T130 | 1.0.2 or later |
| T330 | 1.0.2 or later |
| T430 | 1.0.2 or later |
| M630 | 1.0.0 or later |
| M830 | 1.0.0 or later |
| FC430 | 1.0.0 or later |
| FC630 | 1.0.0 or later |
| FC830 | 1.0.0 or later |
| R240 | 1.0.0 or later |
| R340 | 1.0.0 or later |
| R940 | 1.0.0 or later |
| R940xa | 1.0.0 or later |
| R740 | 1.0.0 or later |
| R740xd | 1.0.0 or later |
| R740xd2 | 1.0.0 or later |
| R640 | 1.0.0 or later |
| R840 | 1.0.0 or later |
| R440 | 1.0.0 or later |
| M640 | 1.0.0 or later |
| T140 | 1.0.0 or later |
| T340 | 1.0.0 or later |
| T640 | 1.0.0 or later |
| T440 | 1.0.0 or later |
| R540 | 1.0.0 or later |

| Server | Minimum version |
|--------|-----------------|
| FC640 | 1.0.0 or later |
| R6415 | 1.0.0 or later |
| R7425 | 1.0.0 or later |
| R7415 | 1.0.0 or later |
| MX740C | 1.0.0 or later |
| MX840C | 1.0.0 or later |
| R6515 | 1.0.3 or later |
| R7515 | 1.0.3 or later |
| R6525 | 1.0.0 or later |

Table 3. Supported iDRAC and Lifecycle Controller for deployment

| Generation | iDRAC with Lifecycle Controller |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| PowerEdge 12th generation servers | 2.50.50.50 or later |
| PowerEdge 13th generation servers | 2.50.50.50 or later |
| PowerEdge 14th generation servers | 3.00.00.00 and later |

Table 4. BIOS and iDRAC requirements for cloud server

| Model | BIOS | iDRAC with Lifecycle Controller |
|-------|----------------|---------------------------------|
| C6320 | 1.0.2 | 2.50.50.50 or later |
| C4130 | 1.0.2 | 2.50.50.50 or later |
| C6420 | 1.0.0 or later | 3.00.00.00 or later |
| C4140 | 1.0.0 or later | 3.00.00.00 or later |
| C6525 | 1.0.0 or later | 3.42.42.42 or later |

ポート情報

本項には、仮想アプライアンスと管理対象ノードの設定に関するポート要件がすべてリストされています。

表 5. 仮想アプライアンス

| ポート番号 | プロトコル | ポートタイプ | 最大暗号化レベル | 方向 | 送信先 | 使用状況 | 説明 |
|--------|-------------|--------|----------|----|---------------------------|-------------------|--|
| 53 | DNS | TCP | なし | 出力 | OMIVV アプライアンスから DNS サーバへ | DNS クライアント | DNS サーバへの接続またはホスト名の解決。 |
| 80/443 | HTTP/HTTPS | TCP | なし | 出力 | OMIVV アプライアンスからインターネットへ | Dell オンラインデータアクセス | オンライン（インターネット）保証、ファームウェア、最新 RPM 情報への接続。 |
| 80 | HTTP | TCP | なし | 入力 | ESXi サーバから OMIVV アプライアンスへ | HTTP サーバ | OMIVV アプライアンスと通信するためのポストインストールスクリプト用のオペレーティングシステム導入フローで使用。 |
| 162 | SNMP エージェント | UDP | なし | 入力 | iDRAC/ESXi から OMIVV | SNMP エージェント（サーバ） | 管理対象ノードからの SNMP トラップ受信用。 |

| ポート番号 | プロトコル | ポートタイプ | 最大暗号化レベル | 方向 | 送信先 | 使用状況 | 説明 |
|-------------|-------------|---------|----------|-------|----------------------------|-------------------|--|
| | | | | | アプライアンスへ | | |
| 443 | HTTPS | TCP | 128 ビット | 入力 | OMIVV UI から OMIVV アプライアンスへ | HTTPS サーバー | OMIVV が提供する Web サービス。vSphere Client および Dell 管理ポータルで使用。 |
| 443 | WSMAN | TCP | 128 ビット | 入力/出力 | OMIVV アプライアンスと iDRAC 間 | iDRAC 通信 | 管理対象ノードの管理と監視に使用する iDRAC および CMC または OME モジュール通信。 |
| 445 | SMB | TCP | 128 ビット | 出力 | OMIVV アプライアンスから CIFS へ | CIFS 通信 | Windows 共有との通信用。 |
| 4433 | HTTPS | TCP | 128 ビット | 入力 | iDRAC から OMIVV アプライアンスへ | 自動検出 | 管理対象ノードの自動検出に使用するプロビジョニングサーバ。 |
| 2049 | NFS | UDP/TCP | なし | 入力/出力 | OMIVV アプライアンスから NFS へ | パブリック共有 | OMIVV アプライアンスによって管理対象ノードに公開される NFS パブリック共有。ファームウェアアップデートおよびオペレーティングシステム導入のフローで使用。 |
| 4001 ~ 4004 | NFS | UDP/TCP | なし | 入力/出力 | OMIVV アプライアンスから NFS へ | パブリック共有 | これらのポートは、NFS サーバの V2 および V3 プロトコルによって statd、quotd、lockd および mountd サービスを実行するため、継続的に開いている必要があります。 |
| 11620 | SNMP エージェント | UDP | なし | 入力 | iDRAC から OMIVV アプライアンスへ | SNMP エージェント(サーバー) | UDP : 162 を使用して標準の SNMP アラートを受信するために使用するポートです。管理対象ノードを管理および監視するために、iDRAC および CMC または OME モジュールからデータを受信します。 |
| ユーザー定義 | 任意 | UDP/TCP | なし | 出力 | OMIVV アプライアンスからプロキシサーバへ | プロキシ | プロキシサーバとの通信 |

表 6. 管理対象ノード (ESXi)

| ポート番号 | プロトコル | ポートタイプ | 最大暗号化レベル | 方向 | 送信先 | 使用状況 | 説明 |
|-----------|-------|--------|----------|----|------------------------|------------|--|
| 162、11620 | SNMP | UDP | なし | 出力 | ESXi から OMIVV アプライアンスへ | ハードウェアイベント | ESXi から送信される非同期 SNMP トラップ。ESXi からこのポートを開く必要あり。 |
| 443 | WSMAN | TCP | 128 ビット | 入力 | OMIVV アプライアンスから ESXi へ | iDRAC 通信 | 管理ステーションへの情報提供に使用。ESXi からこのポートを開く必要あり。 |
| 443 | HTTPS | TCP | 128 ビット | 入力 | OMIVV アプライアンスから ESXi へ | HTTPS サーバー | 管理ステーションへの情報提供に使用。ESXi からこのポートを開く必要あり。 |

表 7. 管理対象ノード (iDRAC または CMC または OME モジュール)

| ポート番号 | プロトコル | ポートタイプ | 最大暗号化レベル | 方向 | 送信先 | 使用状況 | 説明 |
|----------------|------------------------------------|--------|----------|---------|--|-------------|--|
| 443 | WSMAN/ HTTPS、 REST/ HTTPS | TCP | 128 ビット | 入力 | OMIVV アプライアンスから iDRAC、CMC、または OME モジュールへ | iDRAC 通信 | REST または HTTPS プロトコルを使用して、管理ステーションに情報を提供し MX シャーシと通信するために使用します。iDRAC、CMC、OME モジュールのいずれかからこのポートを開く必要があります。 |
| 4433 | HTTPS | TCP | 128 ビット | 出力 | iDRAC から OMIVV アプライアンスへ | 自動検出 | 管理ステーションでの iDRAC(管理対象ノード) の自動検出用。 |
| 2049 | NFS | UDP | なし | 入力 / 出力 | iDRAC と OMIVV 間 | パブリック共有 | OMIVV アプライアンスによって公開された NFS パブリック共有に iDRAC がアクセスするために使用。オペレーティングシステム導入およびファームウェアアップデートに使用。 OMIVV から iDRAC 設定にアクセスするために使用。導入フローで使用。 |
| 4001 ~ 4004 | NFS | UDP | なし | 入力 / 出力 | iDRAC と OMIVV 間 | パブリック共有 | OMIVV アプライアンスによって公開された NFS パブリック共有に iDRAC がアクセスするために使用。オペレーティングシステム導入およびファームウェアアップデートに使用。 OMIVV から iDRAC 設定にアクセスするために使用。導入フローで使用。 |
| 69 | TFTP | UDP | 128 ビット | 入力 / 出力 | iDRAC と OMIVV 間 | トリビアルファイル転送 | 管理ステーションから iDRAC を正常に管理するために使用。 |

OpenManage Integration for VMware vCenter 要件

管理対象ホスト上のサポートされている ESXi バージョン

次の表は、管理対象ホスト上でサポートされている ESXi バージョンに関する情報を提供するものです。

表 8. サポートされている ESXi バージョン

| ESXi バージョン | サーバーの世代 | | |
|------------|---------|---------|---------|
| | 第 12 世代 | 第 13 世代 | 第 14 世代 |
| 6.0 U3 | Y | Y | 無 |
| 6.5 | Y | Y | 無 |
| 6.5 U1 | Y | Y | Y |
| 6.5 U2 | Y | Y | Y |
| 6.5 U3 | Y | Y | Y |
| 6.7 | 無 | Y | Y |
| 6.7 U1 | 無 | Y | Y |
| 6.7 U2 | 無 | Y | Y |
| 6.7 U3 | 無 | Y | Y |

① **メモ:** PowerEdge MX ホストは、ESXi 6.5 U2 以降で使用されている場合にのみサポートされます。

OpenManage Integration for VMware vCenter は、次の vCenter サーババージョンのすべてをサポートします。

表 9. サポートされている vCenter サーババージョン

| vCenter バージョン | クライアント サポート |
|---------------|-------------|
| 6.5 U2 | Y |
| 6.5 U3 | Y |
| 6.7 | Y |
| 6.7 U1 | Y |
| 6.7 U2 | Y |
| 6.7 U3 | Y |

OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.0 は、VMware vRealize Operations Manager (vROPS) バージョン 2.0 をサポートします。

OMIVV 5.0 アプライアンスは、CentOS 7.6.1810 をサポートします。

PowerEdge シャーシでサポートされる機能

このトピックには、PowerEdge シャーシでサポートされる機能に関する情報が記載されています。

表 10. モジュールインフラストラクチャでサポートされる機能

| 機能 | M1000e | VRTX | FX2S | MX |
|-----------------------|--------|------|------|----|
| SNMP アラート | Y | Y | Y | Y |
| ハードウェアインベントリ | Y | Y | Y | Y |
| CMC または管理モジュールのリンクと起動 | Y | Y | Y | Y |
| ライセンス情報 | 該当なし | Y | Y | Y |
| 保証情報 | Y | Y | Y | Y |
| 正常性レポート | Y | Y | Y | Y |
| マルチシャーシ管理グループの関係情報 | N | N | N | Y |
| ファームウェアアップデート | 無 | N | N | Y |

PowerEdge サーバーでサポートされる機能

OpenManage Integration for VMware vCenter によって管理されているホスト上では、次の機能がサポートされています。

表 11. PowerEdge サーバーでサポートされる機能

| 機能 | プラットフォーム | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | 第 12 世代 および 第 13 世代 | 第 14 世代 |
| ハードウェアインベントリ | はい | はい |
| イベントとアラーム | はい (SNMP v1 および v2) | はい (SNMP v1 および v2) |
| コンポーネント毎の正常性監視* | はい | はい |
| BIOS / ファームウェアアップデート# | はい | はい |

| 機能 | プラットフォーム | |
|----------------------------|----------------|----------------|
| Proactive HA ^{\$} | はい | はい |
| 保証情報 | はい | はい |
| 管理対応性 | Y | はい |
| 設定コンプライアンス | Y | はい |
| ベアメタルサーバの自動 / 手動検出 | はい | はい |
| ベアメタル準拠 | はい | はい |
| ハードウェア構成 | はい | はい |
| OS 導入 | はい | はい |
| サーバー LED の点滅 | はい | はい |
| SEL ログの表示 / クリア | はい | はい |
| iDRAC のリンクと起動 | はい | はい |
| iDRAC のリセット | はい | はい |
| システムロックダウンモード | いいえ | はい |
| システムプロファイル | Y | はい |
| クラスタプロファイル | Y | はい |
| 統合シャーシ IP を使用したホスト管理 | N | Y [@] |
| OEM サーバのサポート | Y [~] | はい |

* モデル番号 C6320 のクラウドでは、メザニンカードの正常性監視はサポートされていません。

モデル番号 C6320 のクラウドでは、メザニンカードのファームウェアアップデートはサポートされていません。

^{\$} Proactive HA 機能は、ESXi 6.0 以降を搭載する vCenter 6.5 以降にのみ適用されます。また、Proactive HA 機能は、PSU 内蔵型のサーバおよびクラウドサーバモデルではサポートされません。

[@] MX シャーシホストにのみ適用されます。インベントリ、モニタリング、Proactive HA、ファームウェアのアップデート機能がサポートされています。

[~] ラックサーバでのみサポートされています。

重要なメモ

本項では、OpenManage Integration for VMware vCenter で作業しているときに考慮する必要がある重要情報について説明します。

- ・ OMIVV は、現在「Public」または「public」という名前のコミュニティのみをサポートしています。SNMP コミュニティ名は設定できません。別のコミュニティ名が使用されている場合、OMIVV によってイベントが受信されないため、イベントは VMware vCenter には表示されません。
- ・ 参照サーバーの BIOS バージョンによっては、そのサーバーで作成されたシステム プロファイルが展開失敗の原因となる場合があります。一部の BIOS バージョンは、内蔵 NIC1 および NIC2 設定などの特定の BIOS 設定に対して正確な情報を提供しません。システム プロファイルで最小の BIOS バージョンのサーバーを参照サーバーとして使用すると、それらのフィールドは UI および展開の両方によって無視されます。これにより問題が発生します。ただし、問題が発生するのは、展開を正常に完了するために当該設定に特定の値が必要である場合です。この問題を解決するには、最新 BIOS を備えたサーバーをシステム プロファイルの参照サーバーとして使用します。
- ・ FQDN (完全修飾ドメイン名) を使用して VMware vCenter に OMIVV を登録することを強くお勧めします。FQDN ベースの登録では、vCenter のホスト名は DNS サーバによって適切に解決される必要があります。
- ・ vSphere の DNS の要件の詳細については、次のリンクを参照してください。
 - ・ [vSphere 6.5 および Platform Services Controller アプライアンスの DNS 要件](#)
 - ・ [Windows での vSphere 6.7 および Platform Services Controller の DNS 要件](#)
- ・ クラウドサーバでは、iDRAC Enterprise ライセンスが必要です。
- ・ OMIVV は、サーバー メッセージ ブロック (SMB) バージョン 1.0 および SMB バージョン 2.0 ベースの CIFS 共有のみをサポートします。

その他の必要マニュアル

次の文書は、www.dell.com/support で入手可能です。

- ・ *OpenManage Integration for VMware vCenter* バージョン 5.0 ユーザーズガイド
- ・ *OpenManage Integration for VMware vCenter* バージョン 5.0 インストールガイド
- ・ *OpenManage Integration for VMware vCenter* バージョン 5.0 リリースノート